令和４年度第４回日進市地域公共交通会議　議事録

日時　　令和５年３月１６日（木）　午前９時３０分から午前１１時５０分まで

場所　　日進市役所南庁舎４階　第２･３会議室

出席者　　松本幸正（会長）、𠮷井竜良（委員）、伊東美佐紀（委員）、多田直紀（委員）、大野淳（委員）、若杉将成（委員）（代理：小林弘昭）、花村元気（委員）（代理：山本英和）、池村尚哉（委員）、山内三奈（委員）、大林益英（委員）（代理：八木郁也）、坂井敏也（委員）（代理：田口茂）、鈴木正敏（委員）、神野建三（委員）、鈴村直宏（委員）、菅美佐子（委員）、木俣恵子（委員）、寺田裕美（委員）、水野隆史（委員）

欠席者　　小林裕之（委員）、吉金典晃（委員）、染川和也（委員）

事務局　　生活安全部　杉田部長

　　　　　　　　　　　　　防災交通課　鬼頭課長

　　　　　　　　　　　　　防災交通課移動政策室　三好室長、井筒係長、水谷主査、山田主事

オブザーバー　　瀬戸自動車運送株式会社　横山

　　　　　　　愛知つばめ次交通株式会社　山口

　　　　　　　名鉄西部交通株式会社　平松

傍聴の可否　　可

傍聴の有無　　あり（９名）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内　　　容（　要　旨　） |
| 市長 | 最後の公共交通会議となりますが、今年度もありがとうございました。  くるりんばすの路線改正案という大きな議論を頂きました。  地域の意見等をまとめるのは大変ですが、少しずつまとまってきたと聞いております。今年度は自動運転バスの導入を進めました。国の方で進めているＤＸに関わる取組みで、日進市も積極的に取り組んでいて、国のデジタル田園都市交付金について申請し、先日満額回答を頂いております。来年度の自動運転バスの運行費用や、マイナンバーカードを使った取り組みなどの費用としていきたいと考えています。  100％の方から100点満点を頂くことは難しいですが、より多くの方から頂けるよう、皆さまには引き続き、くるりんばすに限らず、公共交通全体について議論いただきますようお願い申し上げます。 |
| 会長 | 今は明るい話題が多い。公共交通もやっと戻ってくるかと思う。  今日は来年度の話もあります。よろしくお願いいたします。 |
| 事務局 | 21人中18人の出席を頂いており、会議の成立を報告いたします。  この会議では議事録作成のため、ICレコーダーでの録音を承諾いただき、ご発言の際にはマイクを使用いただきますようお願いします。  会議は原則公開としていますが、会長が公開の可否について委員に諮ることとなっています。 |
| 会長 | 非公開とすべき内容はないと思いますが、公開でよろしいでしょうか。 |
| 委　　員 | 異議なし。 |
| 会長 | では、本会議を公開とさせていただきます。 |
| 事務局 | それでは、議事に入ります。議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第４条で会長が議長を行う旨、規定されておりますので、松本会長よろしくお願いいたします。 |
| 会長 | それではここから私の方で議事進行を務めさせていただきます。皆様ご協力よろしくお願いします。  では、事務局から日進市地域公共交通計画の計画目標・確認指標の評価についての説明をお願いします。 |
| 事務局 | 議題（１）日進市地域公共交通計画の計画目標・確認指標の評価について説明 |
| 会長 | 地域公共交通計画の目標等を毎年度評価するということになったため、こうした資料を作成しています。 |
| 事務局 | 本資料の別紙という表記は、２ページ目以降のことを指しているため、提出の際にはそのように表記します。 |
| 会長 | 計画目標は日進市内の公共交通利用者数で、これはコロナの影響で達成していないということになっています。そのほかは確認指標ということとなっています。 |
| 委　　員 | この会議終了後に、１～３ページを合わせてご報告いただくことになっています。  今回は次年度に向けた取り組みということで作成をいただいています。 |
| 会長 | 異論がないようなので、この件に関して承認ということでよろしいでしょうか。 |
| 委　　員 | 異議なし |
| 会長 | それではこの内容で国への提出をお願いします。 |
| 事務局 | 議題（２）令和５年度日進市地域公共交通会議歳入歳出予算について説明 |
| 会長 | 昨年度は利便増進実施計画の策定があったため一千万ほどとなっているが、次年度  は利用促進事業ということで少なくなっている。  また、金額等は議会との関わりもありますので、仮定のものということをご理解いただきたい。  監査を互選により決めたいと思うが、立候補または推薦としたい。 |
| 委　　員 | 松本会長の推薦でお願いしたい。 |
| 会長 | ４月で委員変更とならない事と新しい方という事などから、神野委員と木俣委員のお二人でお願いしたいと思います。 |
| 委　　員 | 承知しました。 |
| 委　　員 | 承知しました。 |
| 会長 | この議題についてもこの形で承認ということでよろしいでしょうか。 |
| 委　　員 | 異議なし。 |
| 事務局 | 議題（３）地域公共交通利便増進実施計画等策定業務の実施状況について説明 |
| 会長 | 路線改正については、住民説明会の意見をもって変更した点があるというもので  す。また、料金の見直しについて、専門部会において根拠を示すよう意見があったことから、仮定の試算として出したものとなっています。  現状の収支率はどのくらいか。 |
| 事務局 | 11～12％となっています。 |
| 委　　員 | この資料に至る地域説明会、専門部会など、事務局には頑張っていただいたと思っ  ています。しかし、様々な制約の中での利便性向上にはやはり限界があるとも感じています。  朝夕便として通勤・通学の便を設定していることが、今回の特色でもあり、朝使えても夜使えなければ、なかなか足が向かないのではないかと思います。  夕便と称するものの中でもルートが異なるものがあり、利用者側としてはやや分か  りにくくなっています。  また、利用者が行きたい施設へ１本で行けるのが一番とは思うが、現状は運行本数の確保などから７路線を乗り継ぐこととなるため、このように運行するのであれば、分かりやすくなるようによくＰＲしていただくことが重要だと思います。  高齢者の料金を無料化することや、定期券を値下げすることなども合わせて議論さ  れているので、高齢者の方にたくさん乗っていただけるような周知をお願いしたい。  もう１点はこの後報告があるデマンドについて、名鉄バスとくるりんばすだけで現  状を大幅に改善するのは限界があるため、本会にご出席の運行事業者にはぜひご協力いただいて、公共交通を便利なものにしていただきたい。 |
| 事務局 | 現在のルートを基礎として、みなさんの意見に多かった双方向運行などを盛り込ん  でいます。しかし、この路線で運行したら終わりということではなく、様々な意見があった場合には適宜改善していきたいと思っています。  公共交通計画で「調和」という言葉を使っている通り、１つの交通モードだけでなく、デマンドなどとの組み合わせの中で利便が増進されていくこととしたい。 |
| 会長 | 病院への乗り入れなどが盛り込まれる中で、どのように使うことができるかを周知することは重要だと思います。 |
| 事務局 | 予算を議論した資料の中で「利用促進事業等」という予算を計上しています。  来年度会議の中で､皆様と議論の中で分かりやすいものを作っていきたい。 |
| 会長 | 交通事業者はバス停時刻表を提供しているが、利用者に読み解いてもらうことを基  本としている。三重県名張市では「目的地別時刻表」を作成して駅へ設置している。例えば、市役所や商業施設へ行くための時刻表があり、路線別ではなく、目的地別の時刻表となっている。  　また、生活支援コーディネーターさんなどとも協力して、高齢者の方等へ案内して  いくことも必要なことだと思います。  　デマンドと既存の公共交通との組み合わせは非常に重要なこととなる。今回の計画  案には､くるりんばすのことだけが書いてある状態だが、これについてはどのように  捉えればよいですか。 |
| 事務局 | 計画案の48ページには関連する事業としていくつか挙げています。今回では入れられていないが、準備が整ったものから計画に盛り込んでいきたい。 |
| 会長 | 48ページには既存の公共交通との調和や、デマンド交通、自動運転などを入れておいていただけたらと思うので、検討してほしい。 |
| 委　　員 | 今回の改正が大きく利用を促進するチャンスだと捉えている。高齢者だけでなく、  学生や一般の方にとっても、環境への配慮ということで行動変容の機会だと思う。  　１つ気になっていることは循環線が200円となっている点です。これは運行距離  が他路線並みに延びていることが理由だと聞きました。専門部会では路線名称を変更  してはどうかという意見もあり、単純に値上げと捉えられないような案内ができたら  いいと思います。 |
| 事務局 | ご意見としてお受けし、検討させていただきます。 |
| 会長 | 日進市はゼロカーボンシティの宣言はしているか。 |
| 委　　員 | 企画・環境の方で行っています。 |
| 会長 | そうしたことであれば、連携してもっと表に出していいと思います。 |
| 事務局 | 利便増進実施計画では、第一に利用者の利便が増進することが求められており、そ  の副次的な効果としては捉えていきたい。また、車両更新の際には環境にやさしい車両を選択するなど、そうした内容は検討できると考えています。 |
| 会長 | 日進市はまだ若い街だと考えているため、若い人たちの運賃負担軽減があるといい  と思っています。  　若い方に乗車経験を積んでいただくことは、その後の利用増進につながることから重要と捉えていますが、そうした話は専門部会ではなかったでしょうか。 |
| 委　　員 | 若い人の話はありませんでした。 |
| 会長 | 今回はくるりんばすだけの運賃検討となっているが、その他の路線と合わせた運賃  の話はありましたか。 |
| 委　　員 | 一部では意見があったが、基本的にはくるりんばすの運賃の検討をしていました。 |
| 会長 | 利便増進実施計画の策定について、みなさんに考えていただいた路線などについ  て、国から補助を頂きながら進めていくということになります。 |
| 事務局 | 各種事業について、補助事業として位置づける事業で書ける内容になるかは、運輸支局と調整して進めていきます。 |
| 会長 | 補助事業との関連など、手続き的なことは事務局に一任するとして、この会議としては、再編が行われ、運賃の改定が進み、他の交通との連携が諮られるというような計画にしていただく、ということで良いと思います。 |
| 会長 | この議題についてもこの形で承認ということでよろしいでしょうか。 |
| 委　　員 | 異議なし。 |
| 事務局 | 報告事項（１）デマンドタクシー実証実験の結果について説明 |
| 委　　員 | デマンドタクシーに期待しているひとりとして見ています。  タクシー事業者の経営状況も大変に厳しい中で、こうしたものがどのような形で取  り入れられるか考えていきたいと思います。  　タクシーの閑散時間帯に、こうしたデマンドタクシーが入れば、利用可能距離や時  間帯が延びれば、もっと利用が増えるのではないかと思うがいかがでしょう。 |
| オブザーバー | タクシーの稼働率を上げたいというのはその通りですが、タクシーの稼働率が低い  時間帯は、みなさんの移動が少ない時間帯ということになります。  　バスも同様だが、乗務員が不足している中で、皆さんの声に対応しきれていない面  もあります。  　病院は予約時間の関係でバスが利用できないという方が、タクシーを利用していた  だくことがあります。  　事業者としては、運賃を頂ければどこまででも走るというのはタクシーで、認可運  賃でやっているため、その運賃の中で動くことになります。  　今回のデマンドタクシーは、利用者の方が日進市から補助を頂いて運賃を支払って  いるという仕組みであることはご理解いただきたい。 |
| オブザーバー | 当社としても乗務員が減少しており、予約に対応できなくなっていることは申し訳  ない状態であります。また、電話対応のスタッフも減少しており、電話に出られないという状態でもあります。  　今回の実証実験でも、瀬戸のタクシーを回送させており、非効率になっているとい  う問題があります。  　１件１件の対応が比較的短時間で済むと、効率が上がっていくのではないかと考え  ています。 |
| オブザーバー | 東郷町・日進市で運行しているタクシー数台を今回の実験に対応させたことから、  実績が少なくなっています。  　手続きなどが煩雑になっており、こうしたことが簡素化されれば対応を増加させることが可能となります。 |
| 委　　員 | 今回が１回目の実証実験となるが、利用者にとってはとてもよいものだと思う。ぜ  ひ、２回目、３回目とお願いしたい。  　日進地区で運行している車は少ないと伺っているが、３社の間で空車状況のやり取  りなどはできないですか。 |
| オブザーバー | ３社それぞれで配車センターが異なり、リアルタイムでの空車状況のやり取りは難  しいと考えています。タクシー事業者が配車しやすいよう、事務処理の簡素化などが進めば、それぞれの事業者が配車できるようになる可能性はあります。 |
| 会長 | 各社では配車アプリなど利用できますか。 |
| オブザーバー | ＣｅｎｔＸで配車予約ができるが、ＧＯアプリには対応していません。 |
| オブザーバー | どちらも対応しておらず、電話予約いただける利用者への対応でいっぱいになって  います。 |
| オブザーバー | ＧＯやＤｉＤｉなどで配車できるようになっています。 |
| 会長 | 利用者はタクシー会社の状況をよく知らないために、従来のライフスタイルを送り  たいと考える。そのために、従来の繁忙期が実験によってより繁忙となるため、公共  としてはライフスタイルを少し変えるための提案などを含めた利用方法の案内など  が必要となるのではないか。 |
| 事務局 | 実証実験ということで調査の意味合いが大きく、予約時の聞き取り等、事務が煩  雑となったため、事業者の皆さまにご負担を頂くこととなりご迷惑をおかけしました。本格導入となればその辺りはなくなっていくのではないかと思っています。  　また、地域ＭａａＳのようなものが構築できる環境となれば、並行しながらやって  いくことが必要になる可能性もあると思います｡  現在のオフピークの時間帯に利用者が合わせていくなど、行動変容を促していくことも重要だと思っています。 |
| 委　　員 | 実証実験の内容を広報に掲載するなどの取り組み予定はありますか。 |
| 事務局 | 今回は速報版として作成したため、今後数値を精査して報告書として公表していく  中で、広報なども活用していきたい。 |
| 会長 | 今回の実証実験に参加した方で、予約が取れなかった方は、自分事として使えない  ものとなってしまう。しかし、タクシー事業者の現状や実験結果についても周知いただいて、次につなげていただけると良いと思います。  また、事業者からは時間帯別の稼働率をご提供いただけると、周知していく中で良い取り組みができるかと思う。 |
| 委　　員 | 移動範囲について、現在は日進市内となっているが、対象地区３では長久手古戦場  駅やイオンモール長久手など、市域を少し超えたところに目的地があるため、次回に  はこうした部分について検討されますか。 |
| 事務局 | この乗り物にはラストワンマイルの目的があり、既存の公共交通で対応できない最  後の乗り物と考えています。どこでも行ける乗り物としては、通常のタクシーを利用していただきたいと考えています。 |
| 会長 | 利用者としては安くどこまでも行きたいが、行政としては税金を投入して運行する  ものの役割を決めなければならない。 |
| 委　　員 | 現在、ＧＯアプリだと市役所まで３分でタクシーを呼べる。高齢者の方には、アプ  リ等が使えないということではなく、使うことを覚えていただく方向へ取り組むことも大切ではないでしょうか。  　医療保険のような考え方として、負担率を決めてタクシー運賃を支払う方法は考え  られないでしょうか。  　デマンドタクシーに関しては料金体系の考え方を検討すれば、面白い取り組みとな  るのではないかと思います。 |
| 会長 | 高齢者の方も現在はスマホを使っている方も多いため、３社とも同じアプリが使え  るようになるならば、それをプラットフォームにすればよいと思います。  　いかにオフピーク時間にデマンドタクシーとして運行できるかを考えていかなければならないと思います。 |
| 事務局 | 報告事項（２）運行状況について説明 |
| 委　　員 | 路線改正の議論の中で、前の路線が良かったという意見がたくさんあるように感じ  たため、グラフには以前の路線の利用者も掲載してもらえるといいと思います。 |
| 会長 | 路線が大きく変わっているので同じ場所には難しいと思うがいかがでしょう。 |
| 事務局 | 以前は参考として、概ね同様の場所を運行していた路線を掲載していましたが、表示年度が多くなったため削除した状態となっています。年度に１回程度はお示ししていくように考えたいと思います。 |
| 委　　員 | 要望の主旨は、委員が変更となった場合に、なぜこの議論をしているのかが分かる  ように、以前の状況を適宜示してほしいというものです。ご対応お願いします。 |
| 会長 | その他のご意見やお知らせ等ございますか。 |
| 委　　員 | 公共交通計画や利便増進実施計画などの進捗などについて、学識の方からご意見を  伺う委員会が開催されました。そこでの意見の主旨としては、地域の意見をきめ細やかに受けていることは評価できること、路線が複雑化しているので、利用者目線での分かりやすい案内を期待するということでした。  　また、アプリ等で配車システムが開発されるなか、令和６年には運転者の労働規制  も厳しくなります。運転者の高齢化もある中で、休憩時間を確実にとることを目的としているため、ダイヤ検討等の際にご配慮ください。 |
| 事務局 | 今年度の会議は今回が最後となります。次年度の開催予定は決まり次第ご連絡いたします。 |
|  | 午前１１時５０分　閉会 |